

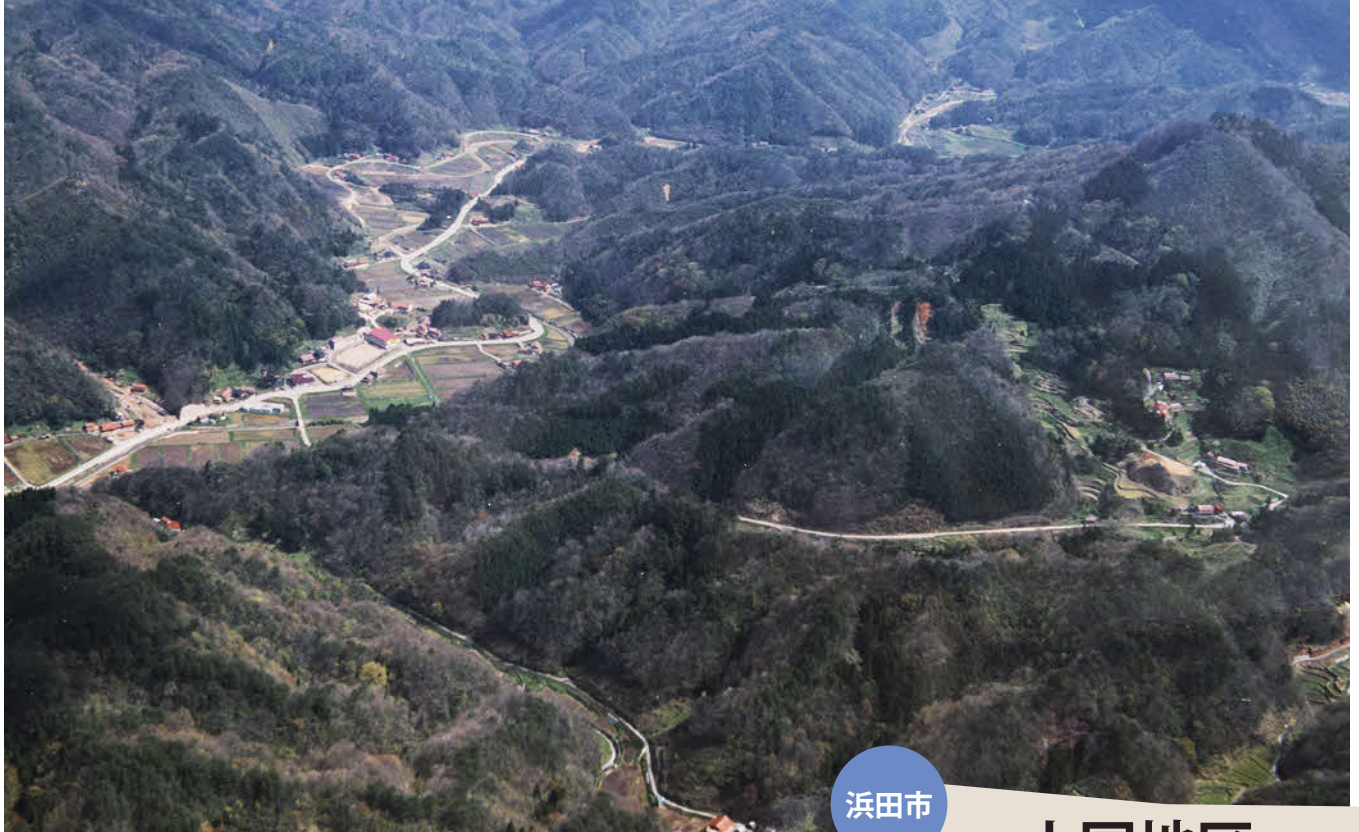
town

小さな拠点づくり

Creating a small base



私たちの町をご紹介します



浜田市

小国地区

(小国まちづくりセンター)

お互いが顔見知りで 繋がりの深い地区

小国地区は県西部の浜田市金城町の中央部に位置します。地区の東西を流れる周布川水系小国川に沿って民家や田畑が点在する、緑豊かな中山間地域です。浜田市内でも高齢化率が高く、高齢者の生活環境などに問題を抱えていますが、人口が少ないゆえにお互いが顔見知りで、住民同士の繋がりが深いという強みがあります。

また、小国は小説家や詩人であり、日本近代劇の先駆者としても知られる島村抱月の故郷です。その歴史的価値に注目し、生誕跡地には「島村抱月生誕地顕彰の杜公園」がつけられました。胸像や顕彰碑、作詞した代表作の「カチューシャの唄」が流れるメロディーボックスなどが設置されており、抱月が幼少期を過ごした風景の中、小国富士の愛称で呼ばれる二子山を見上げながら、その功績や創造の精神を学ぶことができます。



小さな拠点づくりとは？

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。そのため知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

小さな
拠点
づくり

idea

小さな拠点づくり

Creating a small base

浜田市

小国地区

(小国まちづくりセンター)



私たちの アイデア

荷物持ちや買い物の手伝いもしてもらえる「あいのりタクシー」

まちのひとの声



交通支援の「あいのりタクシー」は移動だけでなく、付添人の方が買いたいものを一緒に探してくれたり、荷物を家の中に運び入れてくれたり、助けてくださるので安心して出かけることができます。



目標

あいのりタクシーについては食料品の買い物だけでなく、2022年12月からは金融機関、市役所へも運行します。今後は衣類などが販売される遠方の商業施設への運行も検討しています。また、地域内での活動や行事への参加などの送迎にも活用できるようにして、外出機会を増やすことで日頃会えない人との交流を持ってもらいたいと考えます。住み慣れた場所で長く暮らしていけるよう、住民が必要としていることを調査して取り組んでいきたいです。

活動内容

高齢化が進む小国地区では運転免許の返納者が増加する一方で、公共バスの便数は少ない状況です。そこで浜田市の高齢者の交通手段を確保する支援事業を利用して、小国でも地元タクシー会社を活用し、移動手段がない方を対象に自宅まで送迎のあいのりタクシー（予約制）を2020年9月から試行。2021年から本格運行し、月に2回、スーパーやコンビニまで往復しています。また、送迎にあわせて買い物時のお手伝いや荷物持ちなども配置された付添人がサポートします。

きっかけ

これまで以上に地域が一つになってまちづくりに取り組むために、2021年に浜田市全域で公民館がまちづくりセンターになりました。その動きにあわせて、小国自治振興会は「小国まちづくり委員会」として2021年4月に新しくスタートしました。この新体制により公民館と自治会の垣根は取り払われ、地域を盛り上げて絆を深めるための取り組みを共同で行っています。まちづくりセンターや旧公民館の「小国まめな館」を活用した様々な活動や行事を計画し、広報誌「おぐに富士」を全世帯に配布し、お知らせしています。



小さな拠点づくりとは？

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。そのため知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

小さな
拠点
づくり

idea

小さな拠点づくり

Creating a small base

浜田市

小国地区

(小国まちづくりセンター)



私たちの
アイデア

顕彰公園を
訪れた人をご招待！
「小国の自然に親しむ会」



目標

活動内容

きっかけ

あいのりタクシーについては食料品の買い物だけでなく、2022年12月からは金融機関、市役所へも運行します。今後は衣類などが販売される遠方の商業施設への運行も検討しています。

また、地域内での活動や行事への参加などの送迎にも活用できるようにして、外出機会を増やすことで日頃会えない人との交流を持ってもらいたいと考えます。住み慣れた場所で長く暮らしていけるよう、住民が必要としていることを調査して取り組んでいきたいです。

「島村抱月生誕地顕彰の杜公園」記帳簿に記入された方を対象に、「またこの地域を訪れて楽しんでほしい」という思いから始められたイベントです。対象者にイベント開催の案内を送り、当日はヤマメ釣り体験や神楽のステージのほか、地域で採れた山菜の天ぷらを堪能するなど、五感で小国に親しむことができます。参加者は多いときで300人近くにもなり、今後も継続したいと考えています。

これまで以上に地域が一つになってまちづくりに取り組むために、2021年に浜田市全域で公民館がまちづくりセンターになりました。その動きにあわせて、小国自治振興会は「小国まちづくり委員会」として 2021年4月に新しくスタートしました。

この新体制により公民館と自治会の垣根は取り払われ、地域を盛り上げて絆を深めるための取り組みを共同で行っています。まちづくりセンターや旧公民館の「小国まめな館」を活用した様々な活動や行事を計画し、広報誌「おぐに富士」を全世帯に配布し、お知らせしています。



小さな拠点づくりとは？

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。そのため知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

小さな
拠点
づくり